

海難供養塔



海神守護

南無阿彌陀仏

海上安全

文政元年寅七月吉日

頭取

伊三郎

定三郎

海上安全祈願と海難事故で

亡くなった人の供養のため建

立したものと思われます。建

立者と思われる頭取二名の名

(伊三郎、定三郎) が刻まれ

ています。

頭取(とうどり)は、水

運や船の運行・管理・取引を

統括する責任者を指しますが、

具体的な役職は不明です。